

野菜

9月末より10月にかけて本格的な台風シーズンを迎えます。勢力の強い台風が来ることも考えられますので、日ごろからの備えをしっかり行いましょう。

大雨・長雨により、栽培圃場内では湛水・冠水しないように、また、湛水・冠水した場合もできるだけ短時間で済むよう、圃場周辺及び内部の排水(路)溝等の整備を行いましょ。湛水・冠水が長時間続くと、根痛みによる樹勢の低下・根腐れ、疫病・軟腐病・立枯病等が発生しやすいので、早期に排水を行いましょ。

大雨や湛水・冠水は土壌養分の流亡が発生しやすいので、追肥や葉面散布剤の散布を行って肥効の低下を防ぎましょ。

シロイチモジヨトウに注意

シロイチモジヨトウの発生が平年と比較して多くなっています。ねぎ類、花卉類、豆類、なす科野菜、あぶらな科野菜など広範囲の作物を加害します。

＜ねぎ『シロイチモジヨトウ』に登録のある薬剤(抜粋)＞

農薬名(抜粋)	希釈倍数	使用時期	使用回数
グレースシア乳剤	2000~3000倍	7日前	2回
プロフレアSC	2000~4000倍	前日	3回
ベネビアOD	2000倍	前日	3回
プレオフロアブル	1000倍	3日前	4回
カスケード乳剤	4000倍	14日前	3回

キャベツ・ブロッコリー

コナガ・ハスモンヨトウ等の発生が多くなりますので、注意ましょ。

＜キャベツとブロッコリーともにコナガ・ハスモンヨトウに登録のある殺虫剤(抜粋)＞

農薬名(抜粋)	キャベツ・ブロッコリー		
	希釈倍数	使用時期	使用回数
グレースシア乳剤	2000~3000倍	7日前	2回
プロフレアSC	2000~4000倍	前日	3回
※ベネビアOD	2000~4000倍	前日	3回
プレバソフロアブル5	2000倍	前日	3回
プレオフロアブル	1000倍	7日前	2回
ディアナSC	2500~5000倍	前日	2回

※ベネビアOD以外は、アブラムシ類に登録がないので注意して下さい。

水稻

＜コンバインによる刈り取り作業から乾燥について＞

- ・ 刈り取ったばかりの籾は高水分であることが多く、籾袋・フレコン・タンク内で長時間放置すると、蒸れて品質を悪くする原因となりますので、速やかに乾燥機に入れて、通風ましょ。
- ・ 乾燥は籾水分14~14.5%に仕上げて下さい。特に、雨の後・倒伏した稲などの水分の多い籾は、急激に乾燥すると胴割れ米が発生しやすくなるので、注意して下さい。

2021年 10月出荷暦(改訂)							2021年 11月出荷暦						
日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
					1	2		1	2	3	4	5	6
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27
24	25	26	27	28	29	30	28	29	30				
31	祝日の改訂に伴い110日は通常出荷になり12日が出荷休みに変更になっています。												

たまねぎ

苗床の苗は過湿に弱いので、生育に合わせて灌水量を調節ましょ。

＜病害虫防除＞

苗立枯病(苗床2~3葉期に予防で散布) : 雨が多いと発生しやすい。

農薬名(抜粋)	希釈倍数	使用時期	使用回数
オーソサイド水和剤80	600倍	前日	5回

アザミウマ類 : 高温乾燥時に多発する。

農薬名(抜粋)	希釈倍数	使用時期	使用回数
ディアナSC	2500~5000倍	前日	2回
アディオン乳剤	3000倍	7日前	5回

灰色腐敗病 : 苗床末期と春期の多湿時に多発。被害株は圃場外に持ち出す。排水を良くし、予防ましょ。

農薬名(抜粋)	希釈倍数	使用時期	使用回数
トップジンM水和剤	500倍	定植直前 (5分間苗根部浸漬)	1回
	500~1000倍	前日	5回
ベンレート水和剤	2000~3000倍	前日	6回

べと病 : 秋期の発生は少ないですが、感染して越冬し、翌春の伝染源となる可能性があるので予防ましょ。

農薬名(抜粋)	希釈倍数	使用時期	使用回数
ジマンダイセン水和剤	400~600倍	3日前	5回
ダコニール1000	1000倍	7日前	6回

＜肥料・農薬謝恩即売会開催＞

令和3年11月6日(土)、各営農センター・営農店舗にて

※ 9:00~15:00

※商品限定・店頭引取りのみ、即売会当日、悪天候の場合は電話等にて開催有無をご確認ください。(小雨決行)

みかん

貯蔵病害: 収穫10~15日前に散布。

収穫時は、果実に傷をつけないように注意ましょ。

農薬名(抜粋)	希釈倍数	使用時期	使用回数
トップジンM水和剤	2000~3000倍	前日	5回
ベフラン液剤25	2000~3000倍	前日	3回

＜令和3年産米売り渡し(供出)日程について＞

10月19日(火) 中部営農センター(北中・西・南中・日根野・田尻地区)

10月20日(水) 中部営農センター(長滝・上之郷・大木・土丸地区)

10月27日(水) 南部営農センター(全地区)

11月 2日(火) 中部営農センター(全地区)

小米・古米の引取り日程については、センター・営農店舗で異なりますので、ご確認をお願いします。



農薬使用の基本は、『農薬ラベルの確認・使用方法を守る』『周辺への飛散防止対策をする』『農薬の管理、散布器具の整備を徹底』農薬散布をした際は、その都度生産履歴(防除日誌等)に正確に記帳ましょ。